



# 『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート

第88号(2011年5月31日)



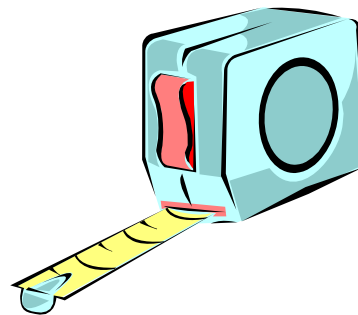
## 【アラブ首長国連邦がメートル法を採用】

アラブ首長国連邦ではこれまでヤード・ポンド法が使われてきましたが、この度メートル法へ移行することになりました。全ての公式の用途、そして商業活動特に不動産関連で、従来使われていたフィート、インチ、ヤードが廃止されてメートルが使われることとなります。

メートル法への移行については、昨年8月に既にアナウンスされていましたが、移行する時期についてはこれまで決まっていませんでした。今回、意思決定のために設けられた委員会において、11月に正式に移行することが発表されました。今後アラブ首長国連邦で行われる全ての商業的な活動の場ではメートル法が使われることが義務付けられることとなります。

この動きは、アラブ首長国連邦の内閣が、計測の単位については国際標準にあわせると決議したことと合致します。今年の1月には燃料の単位としてガロンからリットルが使われることになりましたが、今回はこれに続く動きとなります。

単位を変更する場合、ソフトウェアなども更新される必要がありますので、官民ともに、対応が必要とされることとなります。今回の意思決定の背景には、アラブ首長国連邦が今後ビジネスのハブとしてますます発展するためにも、国際標準に則ったインフラを提供する体制を整えることがあるようです。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



# 『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



## 【日本の「フィルム農法」の可能性】

「フィルム農法」とは、「ハイドロメンブラン」という水と栄養分を吸収する「半浸透膜」を根と水の間に敷き、それぞれを分離させて栽培する農法のことです。メビオールという日本の会社が開発した農法で、土壌や肥料、水といった資源の節約もできることから注目を浴びています。メビオールの森社長は、もともと東レで開発していた技術を農業に援用するために会社を立ち上げたそうです。2009年にはドバイの荒地でフィルム農法の実験を行い、トマトの栽培に成功しました。中東では、農業のためには真水が必要なことから高コストになりがちですが、フィルム農法では水の使用量が少ないため、節水型の農業として注目を浴びているようです。

## 【イスラム金融の発展】

世界的な会計コンサルティング会社の一つであるデロイトのイスラム金融部門の責任者であるDavid Vicary氏によれば、イスラム金融はマレーシアや中東だけではなく、イスラム圏外の欧州や日本、オーストラリアでも成長性のある良いビジネスとして普及しつつあるようです。IFSB (Islamic Financial Services Board)のような団体によりグローバルな基準が策定され、イスラム金融がますますグローバルな存在になりつつあるとのこと。

同氏によれば、グローバルのイスラム金融の資産は世界の金融資産のうちわずか1%程度だろうとのことで、世界の人口の約25%がイスラム教徒であることを考えれば、イスラム圏内だけで見ても今後の成長の余地は大きいと予測しています。加えて、欧州や日本、オーストラリア、カナダといった国では年金基金の資金もイスラム金融の資産に投資されているようです。

イスラム金融というと、教義の違いによる解釈の相違など難解なイメージがありましたが、世界的に基準が統一されていけば、よりメジャーな投資先として認知される日も近いかもしれません。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



# 『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



## 【マラドーナの監督復帰】

アルゼンチンのマラドーナ氏がアラブ首長国連邦のクラブチーム、アルワスルの監督に就任しました。同チームのCEOであるAshraf氏は「2022年に開催されるワールドカップの開催国がカタールになったことよりも、中東地域のサッカー界に与える影響が大きいだろう。」と話しています。

報道を受けて既に入団希望者が殺到しているとのことで、Ashraf氏は「誰が、マラドーナの下でプレイしたくないと思うだろう」と語っています。サッカーの指導者としての技術もさることながら、マーケティングの観点でも大きな効果があるとして、具体的な例として、既にアルゼンチンにアルワスルのサポーターのグループができていることも挙げています。

また、マラドーナ氏については色々騒がれることもありますが、こういった事柄についても「有名税のようなものだ」と語っています。

マラドーナ氏は、ドバイでは成功をおさめることができるでしょうか。

## 【アラブ首長国連邦のe-政府の試み】

アラブ首長国連邦では、改良されたe-政府のWebサイトが公開されました。新しいサイトはFacebookやTwitterのようなソーシャル・サイトと融和性があり、BlackberryやiPhone、アンドロイド端末などからもアクセスができます。

新しいe-政府のWebでは、ザカート(喜捨)および各種料金の支払いや証明書の発行などが可能になっています。また、政府のサービスに対して、意見を書くことができる掲示板のような機能もあります。

また、居住者のみを対象にしたサービスではなく、アラブ首長国連邦を旅行で訪れたい人や投資機会を求めている向きにとって有用な情報や統計を提供することも目的の一つとされています。

UAE Interactという名前で既にサービスが利用可能ですので、興味のある方は覗いてみてはいかがでしょうか。

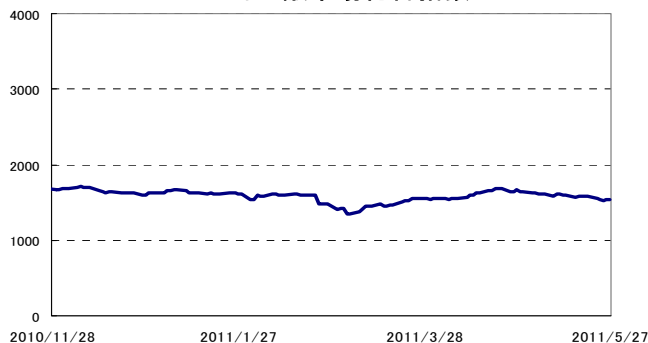


本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。

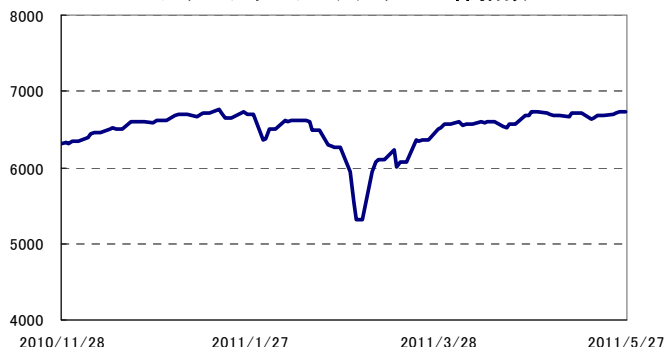


## 【ご参考】 中東(GCC)地域の株価推移 (各市場の直近6ヶ月)

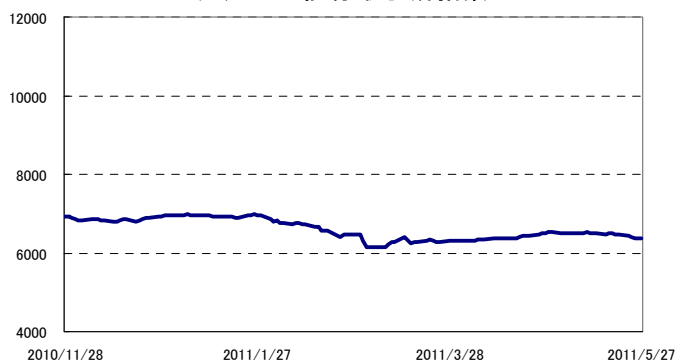
ドバイ金融市場総合指数



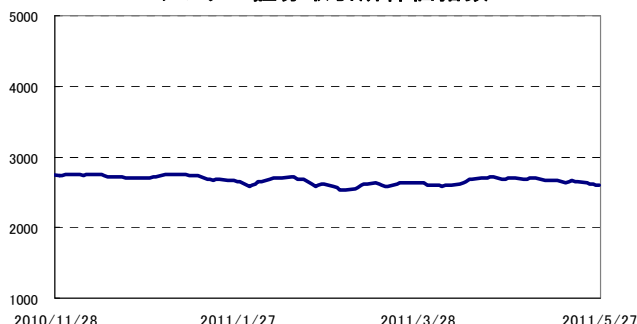
サウジアラビア タダウル全株指数



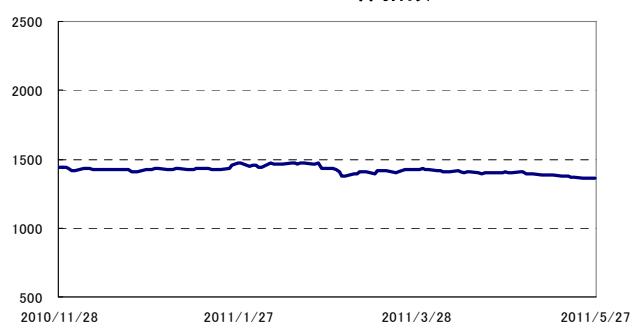
クウェート証券取引所指数



アブダビ証券取引所株価指数



バーレーン全株指数



カタール DSM指数



オマーン マスカットMSM30指数



出所:FACTSET



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。